

科目名称	乳児保育
授業コード	AI218
英語名称	Infant Care and Education
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	三宅 美千代
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	乳児保育は3歳未満児を対象としているが、3歳未満児とはどのような存在で、いかに発達していくのかを学んでいきます。また、この時期の子どもや保護者と対峙する保育者としての責任や心構えをしっかりと身に着け、乳児保育の望ましい在り方について自身で考え、子どもと保護者を支えることができるように、必要な知識や技術を習得することを目指します。さらに、保育所保育指針の改定の背景となった社会的状況や歴史の変遷を踏まえながら、社会のニーズに合わせた乳児保育の役割を紐解いていきます。
科目に関連する実務経験と授業への活用	看護師・保育士の資格を持つ教員が、小児病棟等における看護師としての実務経験と知識・技術を生かして指導する。
到達目標	<p>本科目は、こども学科が定めるディプロマ・ポリシー「2. 教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。【知識・技能】」及び「4. 生命への思いやりをもって子どもと接し、子どもに対する観察・理解力を身に付けるとともに、発達や育ちを基に指導計画を作成し、省察・改善することができる。【人間力・指導力】」の習得のため、以下について系統立てて理解し、保育の対象である子どもの理解を深め、自らの保育として実践する力を養う。</p> <p>乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。</p>
計画・内容	<p>第1回 ・乳児保育の歴史の変遷 ・乳児保育の現状と現代における社会的役割</p> <p>第2回 ・乳児保育の意義 ・保育所保育指針における乳児保育の位置づけ</p> <p>第3回 ・乳児保育が行われる場 ・子ども・子育て支援新制度と乳児保育</p> <p>第4回 ・0歳児の成長発達の特徴 ・0歳児の保育のポイント</p> <p>第5回 ・0歳児の生活と環境 ・0歳児の遊びと環境</p> <p>第6回 ・1歳児の成長発達の特徴 ・1歳児の保育のポイント</p> <p>第7回 ・1歳児の生活と環境 ・1歳児の遊びと環境</p>

計画・内容	<p>第8回 ・2歳児の成長発達の特徴 ・2歳児の保育のポイント</p> <p>第9回 ・2歳児の生活と環境 ・2歳児の遊びと環境</p> <p>第10回 ・乳児保育と3・4・5歳児の保育とのつながり</p> <p>第11回 ・乳児保育における健康管理</p> <p>第12回 ・乳児保育における安全管理</p> <p>第13回 ・乳児保育における職員間の連携と協力 ・乳児保育における地域との連携と協力</p> <p>第14回 ・乳児保育における保護者との連携と協力 ・連絡帳の書き方</p> <p>第15回 ・乳児保育の今後の課題 ・乳児保育の専門性のまとめ</p>
授業の進め方	講義形式が中心となりますが、パワーポイントや動画、画像等を用い、視覚的にも分かりやすい授業を充実させます。また、適宜グループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れ、各自の考えを発言し、グループ内における意見を統合し発表を行い、みんなで共有するアクティブラーニングの時間も設けます。
能動的な学びの実施	子どもを取り巻く環境や社会に常に目を向け、子どもが置かれている現状や問題点、乳児に関する情報を入力し、自分なりの意見をまとめ考察を行い、授業内で共有し、意見交換を行うなどし、学びや理解を深め、新たな気づきを得ることを希望します。
授業時間外の学修	授業前に教科書の該当箇所を読み、分からない言葉等は事前に調べておいてください。また各回の授業におけるテーマに関連した文献等を検索し、自らの考えをまとめて、学習内容の課題を明確にして望んでください。授業後には毎回授業の学び自分なりに整理し、知識を定着させてください。(合計60時間程度)
教科書・参考書	<p>【教科書】特に無し</p> <p>【参考書】</p> <p>『保育所保育指針解説』厚生労働省(編)フレーベル館</p> <p>尾野明美・小湊真衣・菊地篤子著、『アクティブラーニング対応 乳児保育 一日の流れで考える発達と個性に応じた保育実践』,萌文書林,2019.</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験(50%)</p> <p>授業内における小テスト(10%)</p> <p>毎授業のリフレクションペーパー(10%)</p> <p>課題レポート(20%)</p> <p>授業参加度(10%)により総合的に成績を評価します。</p>
課題等に対するフィードバック	毎授業におけるリフレクションペーパー内の質問に対し、次の授業で解説を行います。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	配布資料が多いため、A4サイズのファイルを用意しファイリングをし、また専用のノートを作成するなど、自分なりに各回の授業内容を整理してください。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：Zoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し、議論します。授業内容の確認小テストを行い、Webフォームに直接入力をし、その後解説を行います。</p> <p>zoom授業への参加度(10%)、確認小テスト(20%)、レポート提出(20%)、最終確認試験(50%)により総合的に成績を評価します。</p>